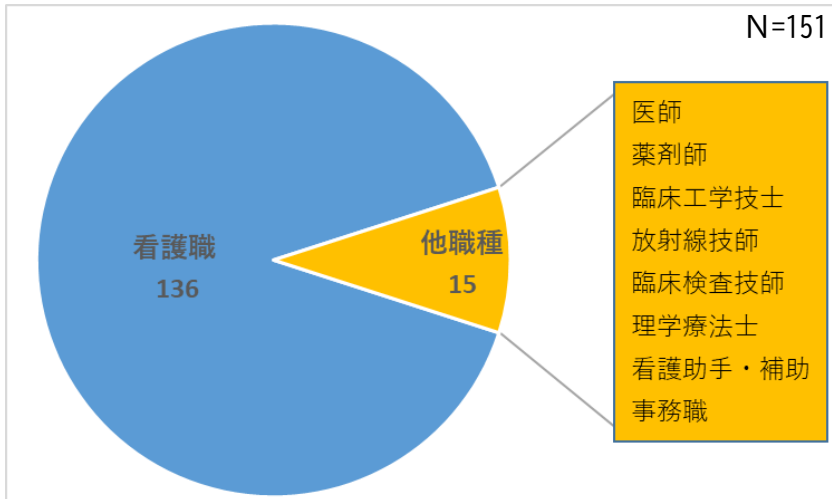


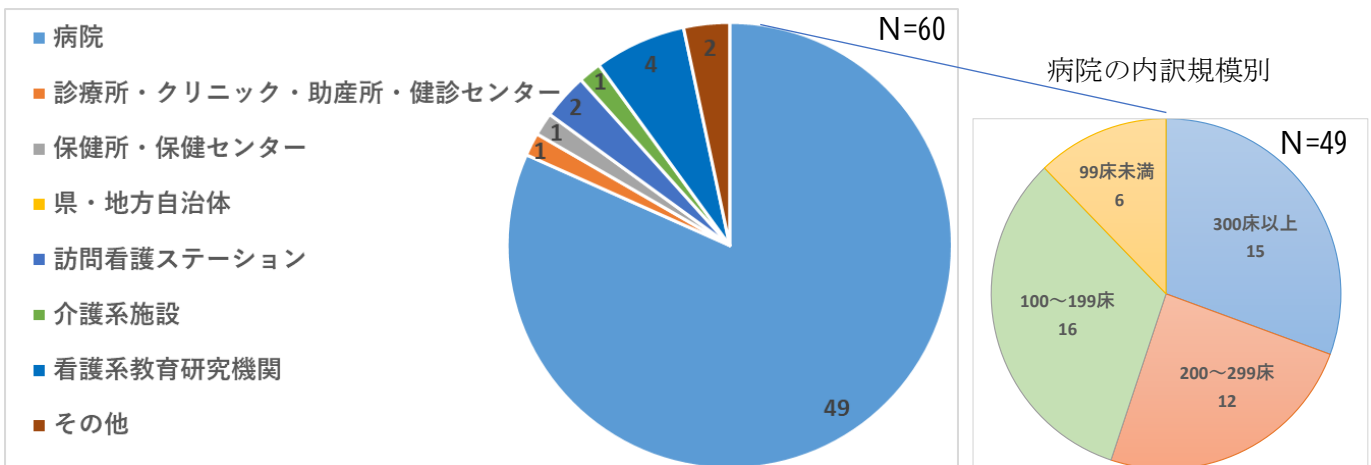
第16回医療安全大会

「参加者数・参加者背景」

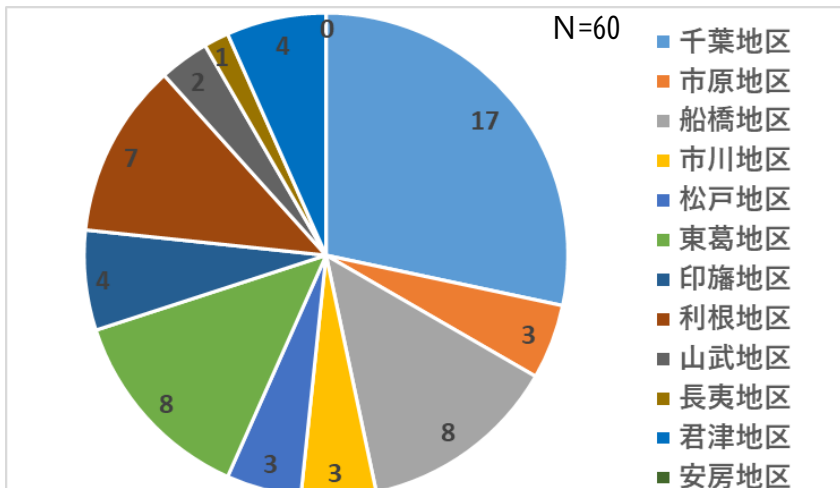
- 1 申込者数：171人
- 2 参加者数：151人（視聴ツール参加台数：113台）
- 3 視聴状況（視聴ツール1台につき観た状況）
 - 1人のみ：100台
 - 複数人（プロジェクター等使用）：13台
- 4 参加者所属施設数：60施設
- 5 参加者職種（人数）



6 参加者所属施設の種別（施設数）



6 参加者所属地区（施設数）



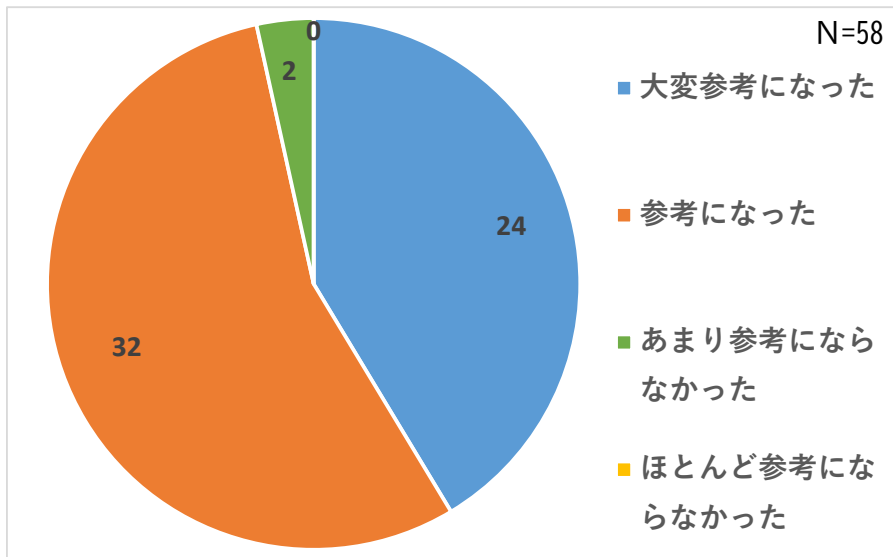
「参加後アンケート」

1 アンケート回答数：58件、回収率：51.3%

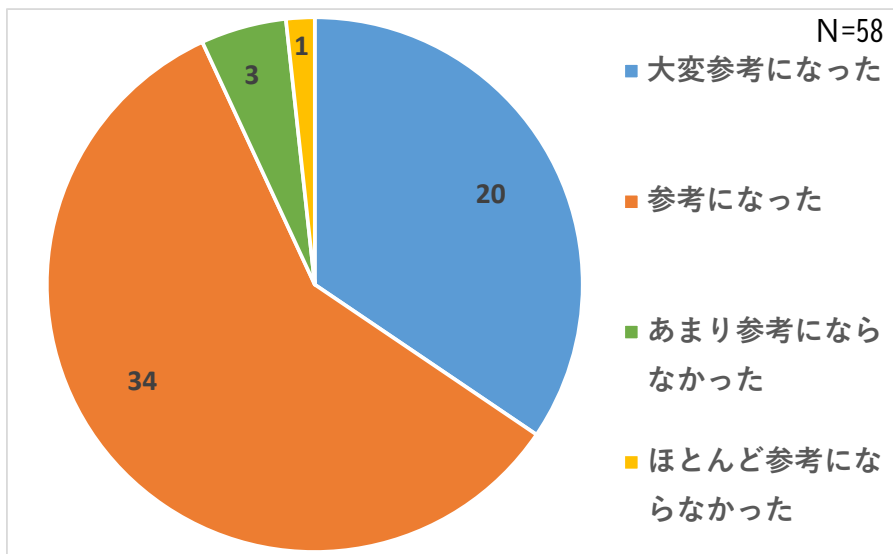
※回答は、参加数113台（視聴ツール台数）が対象ですが、アンケートが出なかったところもあった。

2 アンケート結果

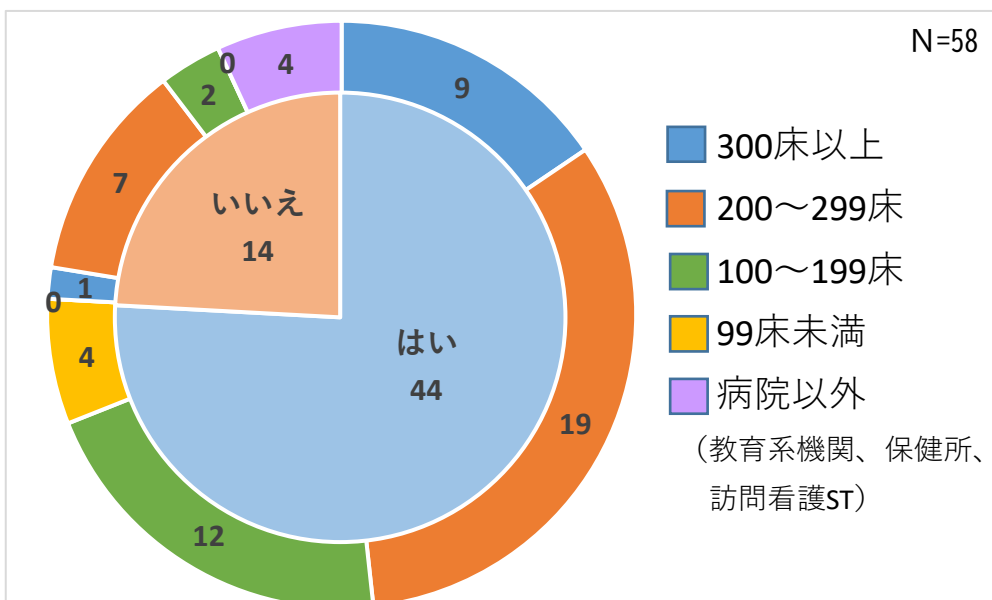
(1) 講演1は参考になりましたか。(件数)



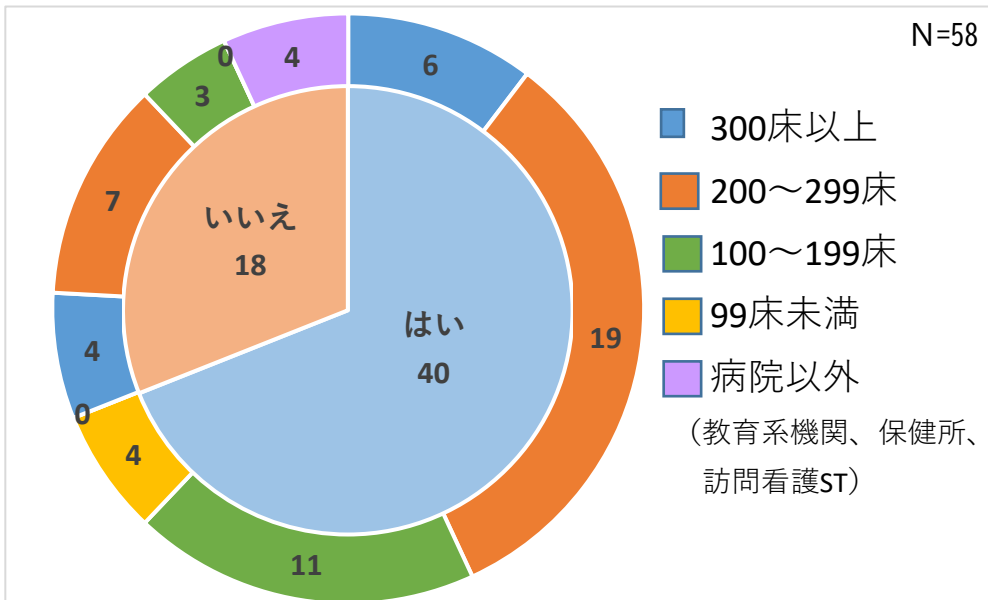
(2) 講演2は参考になりましたか。(件数)



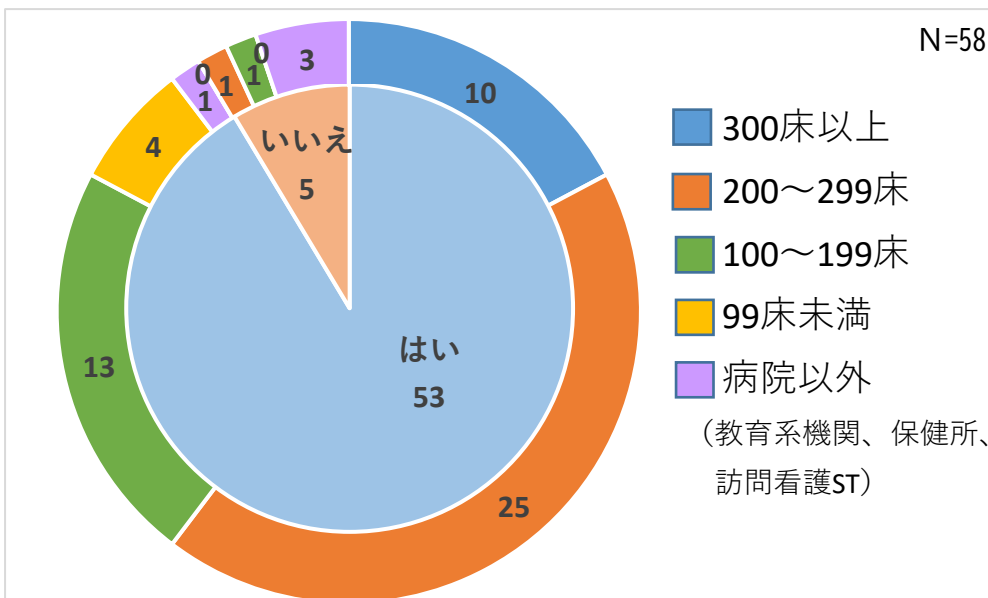
(3) 医療安全対策加算1・2を知っていますか。(件数)



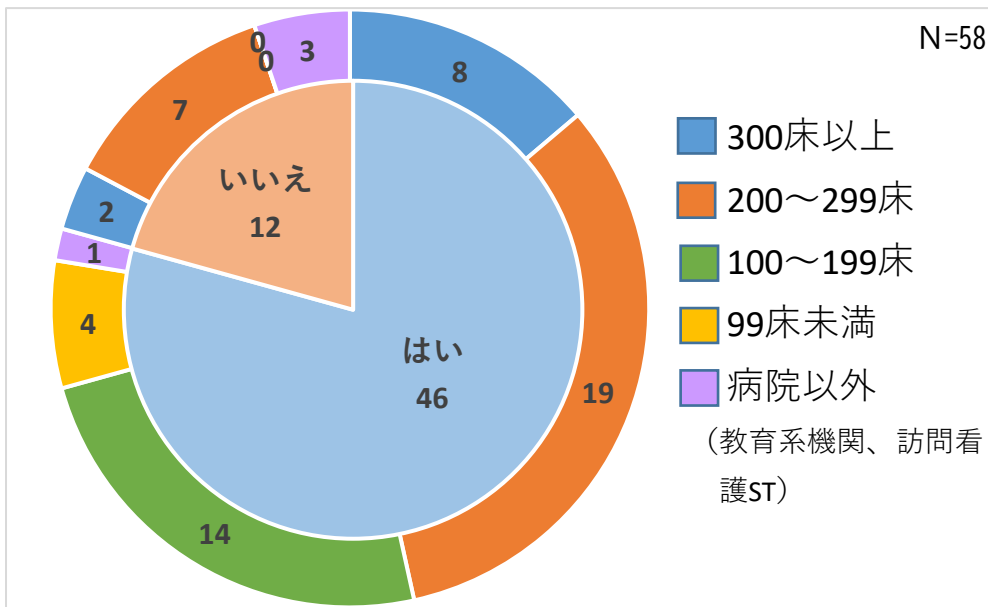
(4) 医療安全対策地域連携加算を知っていますか。(件数)



(5) 所属施設では、多職種で医療安全活動を実践していますか。(件数)



(6) 医療安全委員会等に関わっていますか。(件数)



(7) 今後、聞いてみたい講演内容

<連携>

- ・他職種連携の医療安全活動の取り組み方（多職種を巻き込んだ医療安全活動の方法）
- ・多職種で行うインシデントカンファレンスの事例
- ・千葉県内の地域連携状況
- ・医師と連携した医療安全活動の方法

<コミュニケーション等>

- ・チームステップス研修（導入方法、現場でどのように用いているか、具体的な事例を交えて）
- ・モチベーションの低いスタッフとの協働の仕方、巻き込み方
- ・コミュニケーションスキルに関する研究
- ・コンフリクトマネジメント

<医療安全管理室の活動>

- ・各施設での医療安全管理室の具体的な活動内容
- ・医療安全管理者の役割について
- ・効果的な院内パトロールについて
- ・安全対策の周知・徹底への取り組み
- ・医療安全活動の実際
- ・個人病院での有効的活動方法

<事例分析およびインシデント、アクシデントレポート>

- ・事例分析手法の活用方法
- ・分析手法 ImSAFER（アイエム セーフター）：河野龍太郎氏

（自治医科大学医学部医療安全学教授）

- ・事例分析について（何を使ってどのように分析しているか、施設内研修で実施しているか）
- ・インシデントレポートのフィードバックの取り組みの事例
- ・インシデント、アクシデントレポートの提出増の方法や分析と活用、還元の仕方等

<院内研修>

- ・多職種で実施する医療安全研修のやり方
- ・WEB研修をどのように開催していくか

<相互ラウンド>

- ・相互ラウンドの実際（日々のラウンドから年間業務改善計画まで、全体の取り組み等）
- ・県内の相互ラウンドの状況など情報共有してみたい

<転倒転落>

- ・転倒転落について、各病院の対応を知りたい（アセスメントシート、電子カルテ表示などの工夫等）
- ・エスカレーターによる転倒転落への対策

<判例>

- ・事例から学ぶ医療安全（例えば、訴訟になってしまったことなど）

<医療事故発生時の対応および医療事故調査関連>

- ・医療事故が起きた際の検討会の進め方 死亡・死産チェックシートにおける「予期せぬ死亡」の考え方
- ・医療事故調査支援制度の活用（提言集）

<感染対策>

- ・感染対策について
- ・コロナ陽性者を受け入れている病院のコロナ対応。コロナ陽性者を受けていない病院の入院時のコロナ対応。
- ・コロナウイルスに関係する医療安全の地域連携

<災害対策>

- ・災害時の安全対策

<その他>

- ・safety 2 の活動を実際に実施している病院の話
- ・放射線検査の被爆について
- ・認知症患者への対応について
- ・メンタルヘルス。パワハラ・セクシャルハラスメント対策について
- ・千葉県の行政としての考え方、関わり方
- ・医療安全対策加算を取得している際の、医療安全管理者の質の向上も制度として今後どうあるべきと考えられているか
- ・その時期に流行している内容についての、知識・行動などを発信できる内容であればよい
- ・コメディカル職種からの視点で講演を聞いてみたい
- ・クレーム対応について、現場の初期対応スキル
- ・終末期ケア・医療における ACP（アドバンス・ケア・プランニング）や多職種・地域連携の将来に向けた医療体系について
- ・日本の未来の医療について、人口の減少による予測される状況や介護の状況資源、胃ろうへの考えや施設の受け入れ、医者からの IC 方向。私達の出来る事や使命任命日本の実情

(8) 開催方法について（件数）

